



事例発表 大戸まちづくり協議会

特定非営利活動法人大戸まちづくり協議会

長島三四郎





目次

- 発表者の経歴と活動
- 大戸町の概要
- 大戸まちづくり協議会の発足と概要
- 協議会の活動(全体・産業部会・ふくし部会・教育部会)
- 協議会の展望



発表者の経歴と活動

- プロフィール

1991年、茨城県土浦市で生まれる。

2024年10月、会津若松市地域おこし協力隊に就任し、会津若松市大戸町(芦ノ牧)に移住。

前職:大学の研究所で調査研究に携わる。

- 協議会での活動

協議会の運営事務(事務作業、会議の調整、連絡・調整等)が主な業務。



大戸まちづくり協議会の中で、自分に何ができるのか？



大戸町の概要

- 環境: 大川(阿賀川)、大戸岳(標高1,416m)
- 地区数: 14地区(石村・下雨屋・宮内・上雨屋・南原・香塩・大豆田・上小塩・芦ノ牧・舟子・桑原・闇川・黒森・小谷)
- 観光: 芦ノ牧温泉(大川荘など)、芦ノ牧温泉駅(ねこ駅長)、牛乳屋食堂、うえんで等
- 教育施設: 大戸小学校・大戸中学校、会津児童園





大戸町の課題

地域に産業がない

空き家の増加

若者の流出

商店・飲食店の減少

伝統文化の継続性の危機

子どもの減少、学校の維持が困難

人口減少

過疎化

少子高齢化

地域の担い手の減少

放置竹林の増加(竹害)

遊休耕作地の増加

獣害(熊・鹿・猪・猿等)の増加

防災(水害等)

交通手段の不足

地域の問題を解決したい！



大戸まちづくり協議会の発足

地域の課題を地域
住民のチカラで解決
する為に！

- 2020年6月30日、
大戸町区長会を
中心に、任意団体
として発足！
- **2023年4月20日、
特定非営利活動
法人大戸まちづく
り協議会として再
スタート！**

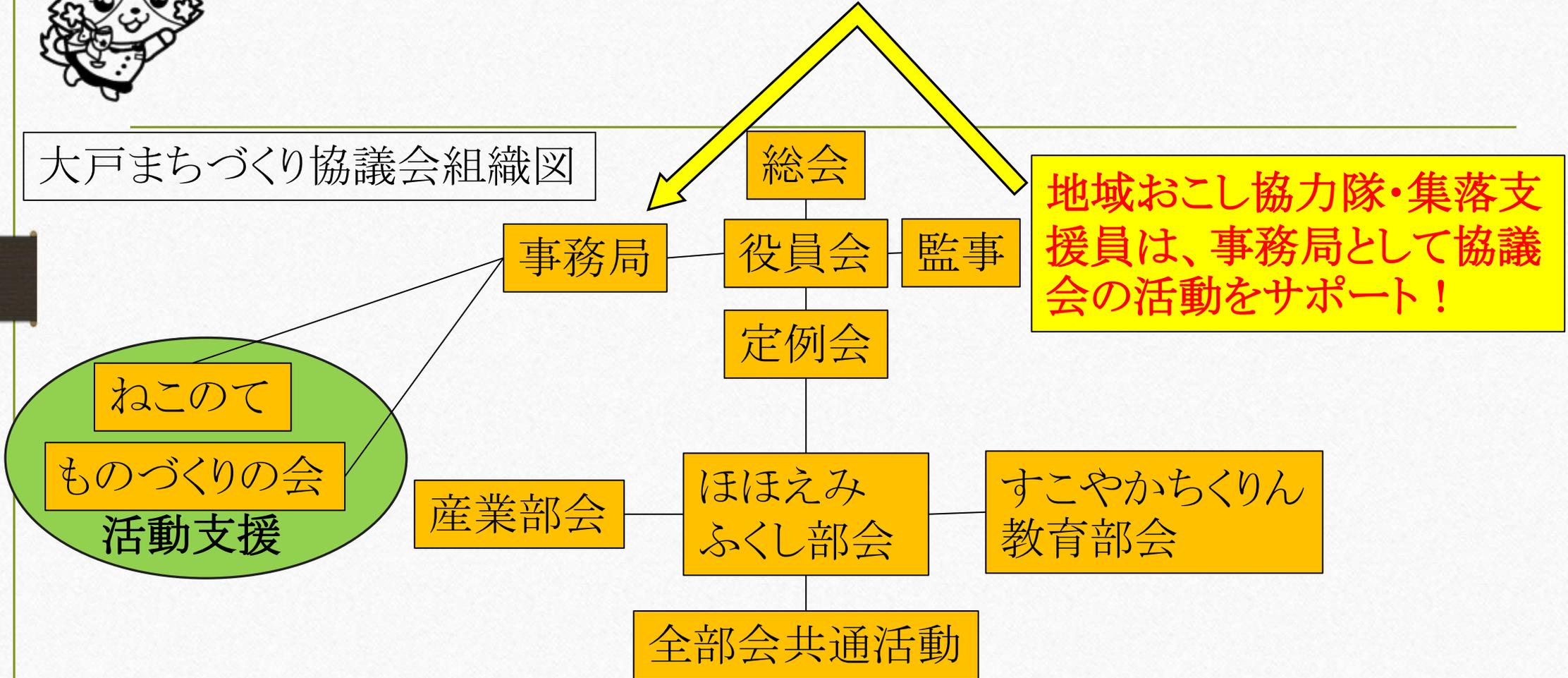


協議会のロゴマーク



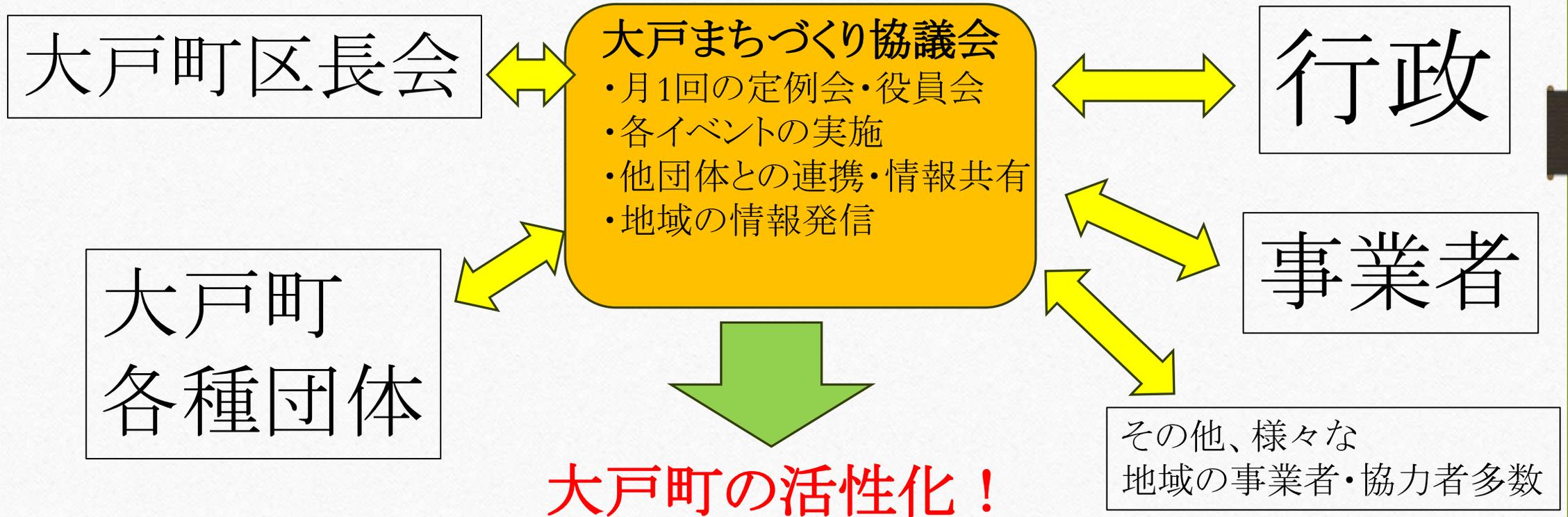
大戸まちづくり協議会の概要

大戸まちづくり協議会組織図





大戸まちづくり協議会の概要





大戸・地域づくりビジョン

- 趣旨: 協議会の目的達成のため、地域の特性を知り・取組の方向性や実践方法を定め・地域全体で共有して、取り組みを効果的に進めていくことを目的として策定。【協議会の基本方針】

- 期間: 第1次(2020～2022)、第2次(2023～2026)

※第2次ビジョンは、会津若松市の総合計画(後期期間)と期間を合わせる形で4年となっている。

- テーマ: **ずっと住み続けたい！しなやかにささえ合う“大戸だけ”の魅力あふれるまちづくり**



大戸・地域づくりビジョン

- 基本目標

自然環境・歴史・文化・人材・店舗など、地域の宝をフル活用し、様々な主体との連携・協働により、時代や環境の変化にしなやかに対応しながら、**将来にわたって安心して住み続けられる魅力的な大戸町をつくります。**

- ビジョンの位置づけ

この計画は、**会津若松市自治基本条例の理念に基づき、大戸地区におけるまちづくりを行う上での基盤となるもの**であり、住民と地区が目標を共有し、協働して地域づくりを進めていくための基本方針となるものです。



3つの分野の目標・柱 各部会の基本方針！

部会の枠を越えた目標も！

鳥獣対策
自主財源の確保
地場産品の確保

産業部会

- 分野別目標:賑わいがあり、かぐや姫に会えるまちづくり
- 活動の柱
地域で産品を販売し、買い物
& 飲食ができる場所を作る
- 地域産品の開発
地域内に雇用を創出する
- 地域内で働く場づくりの検討等...

ほほえみふくし 部会

- 分野別目標:住民が支えあい、心やすらぐまちづくり
- 活動の柱
高齢者が便利に移動できる
住民同士が助け合える
健康づくりができる
- 運動できる環境づくり等...

すこやかちくりん 教育部会

- 分野別目標:大戸の竹のようにしなやかですこやかな成長を育む学びのまちづくり
- 活動の柱
他地域に誇れる魅力的な教育環境づくり
- 地域と連携した特色ある教育環境を作る等...



協議会の活動を紹介！





協議会の活動(産業部会)

大戸町に新たなる特産品(地場産品)をつくろう！

大戸マルシェ



地場産品





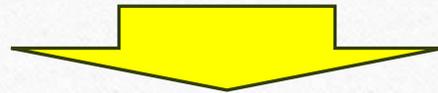
協議会の活動(産業部会)

大戸町の特産品(地場産品)を作りたい！

⇒地域の竹林からメンマ作り！

⇒地域の人と畑を耕してハックルベリージャム作り！

⇒地域の内外で販売、地域の活性化を目指す！



☆大戸マルシェの開催！！



協議会の活動(産業部会)



メンマとジャム
販路拡大中!!



協議会の活動(ほほえみふくし部会)

住民の健康と支えあうまちづくりを！！

健康イベント



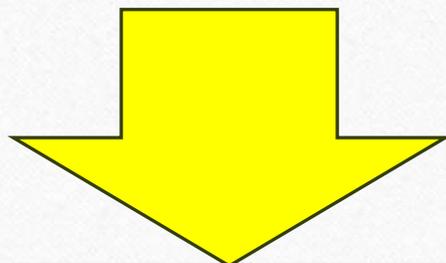
ボランティア輸送



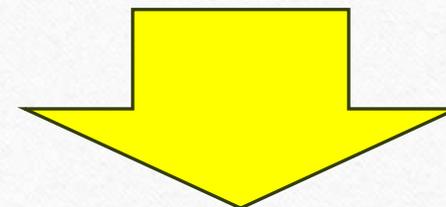


協議会の活動（ほほえみふくし部会）

住民の健康意識の向上と支えあうまちづくりを目指す



健康イベント
の開催！！



地域で病院・買い物に困っている人々
を支える車送迎事業

ボランティア輸送



協議会の活動 (ほほえみふくし部会)



楽しく明るく健康に！



協議会の活動(すこやかちくりん教育部会)

地域と連携した特色ある教育環境を！！



フォトコンテスト

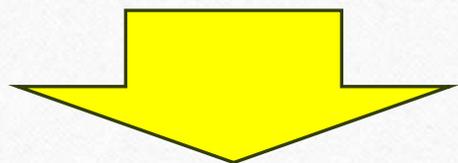
環境保全活動



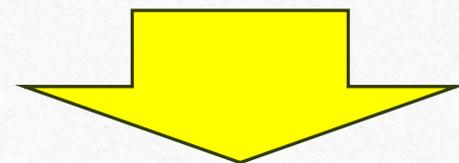


協議会の活動(すこやかちくりん教育部会)

大戸町の特徴を生かした教育環境で子どもたちを支える



地域の宝「勝多桜」
を守る保全活動を子
どもたちと一緒に！



地域の魅力を再発見す
る為、フォトコンテストを
開催！

協議会の活動 (すこやかちくりん教育部会)



大戸町の自然環境を残し、資源を活用する取り組みを様々実施！！





協議会の活動(全体・その他)



SNSでも発信中！！




プロフィールを編集

NPO法人大戸まちづくり協議会
@OOT084060111

大戸まちづくり協議会は、会津若松市大戸町において地域の様々な課題に対応していくため、地域住民や地域内の各種団体、事業者などが連携し、行政や大学とも協働しながら地域づくり活動に取り組む組織です。令和5年度にNPO法人化しました。

会津若松市大戸町 note.com/ootomachi
自 2019年7月からXを利用しています

大戸公民館だより

大戸岳 令和7年7月号

発行日	令和7年 7月 7日	発行部数 602部
発行所	大戸公民館	人 員 17名
発行人	奥平 義孝 編集	高 価 86円
定 価	0242-92-2373	定 価 28円
FAX	0242-92-3449		※令和7年 6月 1日発行

※訂正事項あり

今月の「地域学校協働活動」

今日は、小学校的「お種子伝承活動」や中学校の「農業体験学習」など、地域の大切な伝統活動の継承や農業への理解を深める学校活動を地域の方の指導により行いました。

大戸小 協働活動

ー【6月3日】お種子伝承活動
地域に伝わるお種子を子どもたちに伝えるため、二橋さんと古坂さんを講師に今年初めての授業を開始しました。

これから「地域探検」や「大戸小まつり」での発表に向けて、たくさん練習をさせていただきます。

【6月12日】クリーン作戦→目標は地域の皆さんから応援を寄せている子どもたち。今回は、子どもたちからの地域貢献活動として公民館や声ノ

大戸まちづくり協議会からのお知らせ

今回は、協議会を愛する心強いグループ「ねこのて」の活動と、今年度から始めた協議会のグッズ制作を担当するグループ「ものづくりの会」について紹介します！

活動紹介「ねこのて」

【5月27日】女性の会員とサポーターで活動している「ねこのて」で、フロー作りを行いました。フロー作り、「ねこのて」の会員同士が励みになって、教えあひかりました。最後、作業工事をしと素晴らしいモノが完成しました。

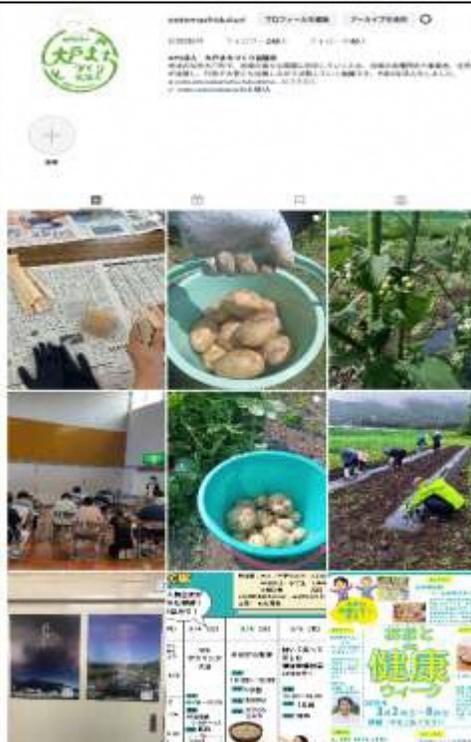
「ねこのて」は、協議会の啓蒙、マスコットやイベントでの活動、竹製品や木工品の高品質開発など、楽しく活動しています。さまざまな活動を生かして行っている、協議会にとってなくてはならない存在です。

今年度も、みんなで楽しく、精力的に活動していきます。

「やえんどう」をフローにフロー作りが出来ます。フロー作りが出来ます。

皆さんも「ねこのて」の活動に参加してみませんか？

活動紹介「ものづくりの会」



www.ootomachi.jp

大戸まちづくり協議会

活動紹介「ねこのて」

活動紹介「ものづくりの会」

健康と健康

地域の為に何が出来るのか？

おおとっこ交流イベント

参加者100名以上！



地域の子どもたちに大戸町を好きになってもらうために、地域と子ども、大人と一緒に楽しめるイベントを！

地域住民、各種団体が協力して実施。



課題はあるけど、大戸町にはまだ底力が残っている！



大戸町の底力を引き上げよう！ 地域おこし協力隊と集落支援員

協議会では、地域おこし協力隊として馬場啓太氏（R4.4～R6.4）と発表者（R6.10～）が、集落支援員として田代新一氏（R7.4～）が活動。



外と内からの目線で、地域と一緒に未来を考える。



おわりに ～地域と一緒に考える～ 「おおとのみらいを語ろう会」

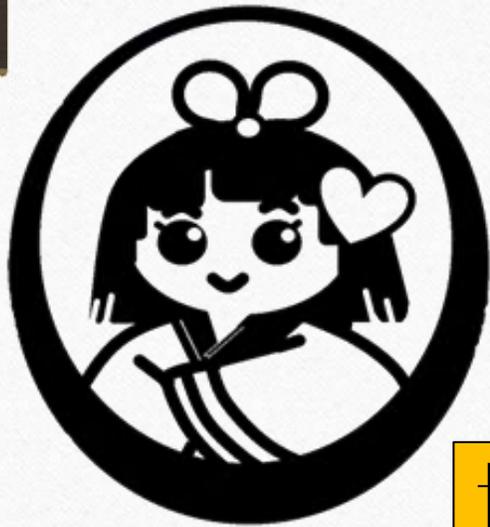
- ・心の温かさ・豊かな農産物・自然・文化・学校を守りたい
- ・若い世代も高齢者も住みよい町にしたい
- ・「もどってきたい」と思える町にしたい 等々…。

2025年1月に実施したワークショップには、約60名の参加者が！



地域の熱い思いをまちづくりに生かし、協議会の活動をより良くすることが使命！！

ご静聴ありがとうございました。



協議会グッズのキャラクターたち